

手島繁一さんの略歴

【誕生から高校卒業まで（根室→美幌→札幌）】

1947. 11. 19 根室郡根室町（現 根室市）で手島三夫・咲枝夫妻の長男として生まれる。
1954. 4 根室町立花咲小学校入学
- 1957 小学校 4 年時に父親の転勤により一家は美幌町へ、美幌小学校へ転入。
1960. 4 美幌町立美幌中学校入学
1961. 2 中学校 1 年時に一家は札幌市へ転居し、市立八条中学校に転入。
1963. 4 道立札幌南高校に入学、1966 年 3 月卒業。

【北海道大学在学】

1966. 4 北海道大学入学（文類）
1966. 6～1966. 11 教養部学生自治会執行委員長
1968. 10～1969. 9 北海道大学学生自治会連合（北大学連）執行委員長、1967？教育学部移行。
- 1970～ 東京在住（全学連書記局）
1972. 7. 30～1 年間 全学連（全日本学生自治会総連合）執行委員長
1973. 4 北大教育学部に復帰し、卒業単位取得のために教養部に残した語学などの単位や学部の勉学に佐藤廣 氏とともに取り組む（10 月頃までは全学連執行委員長も務めており、東京－札幌を頻繁に往復か）。
1974. 3 北海道大学教育学部卒業（佐藤廣 氏とともに）

【東京暮らし（法政大学・協同総合研究所）】

1974. 4 法政大学大学院社会科学研究所修士課程入学（指導教授：中林賢二郎）、中林ゼミで五十嵐仁氏らと共に学ぶ、1980 年 3 月修了。
1980. 4 法政大学大学院社会科学研究所博士課程進学、1982 年同 中退、以後、法政大学社会学部非常勤講師。
- 1986 恩師 中林賢二郎教授逝去、その頃から労働旬報社 佐方信一氏（故人）との交流が始まる。
1991. 3. 23 協同総合研究所（協同総研）の設立総会、2000 年前後まで常任理事として研究所の立ち上げ、調査・研究活動に尽力する。
- 2000～ 法政大学大原社会問題研究所兼任研究員、嘱託研究員など。1980 年以来、法政大学社会学部非常勤講師も継続。
2002. 1. 11 旧姓 北井慶子（北大理学部植物学科 1970 年卒、同 農学部事務職員）と結婚

【札幌 U ターン】

2006. 2 札幌に帰る（妻 慶子との同居始める）
2010. 5. 16 北大の自由・自治・反戦・平和の歴史を考える 5. 16 集会（世話人会事務局長として妻 慶子と共に尽力）
2011. 2. 22 同上集会のまとめ「蒼空に梢つらねて」発行（編集委員長を務める）
2017. 10. 20 妻 慶子死去
2019. 11. 4 北大闘争 50 周年の年に語り合う夕べ（北大経済学部関係者中心）に参加
2021. 1. 25 同上会合から始まった取組みにより「北大 1969」発行（編集委員長を務める）
2024. 9. 5 「北大院生協議会史」発行（「北大 1969」関係者が中心メンバーとなり発足した編集委員会に加わる）
2024. 12 自宅にて逝去 2006. 2

札幌 U ターン後、戦後社会運動史研究会、白鳥事件問題の検討会、北海道戦後史研究会などに参加し、講演や関係者との討論・聞き取りなどを行い、りんゆう観光ツアーなどに参加し山登り・山歩きも楽しんでた。「北大 1969」発行後は、元北大全共闘・ベ平連関係者との zoom による意見交換会（「北大闘争を語る会」）や全国レベルの全国学園闘争研究プロジェクトの研究会に参加し、東大闘争関係者とも意見交換などを行い、北海道内外の学生運動史の取りまとめも念頭にあったようだが、未完成となり、多くの資料が残されることになった。

手島繁一さん 著作・執筆一覧				
発行年月日	著者名	タイトル	体裁	備考
1964. 1. 17	1 年 13 組 手島繁一	はじめての学校祭 出不精だった総務(札幌南校新聞 1964. 1. 17 号)		
1966. 2. 15	手島繁一 (三年)	伝統について (北海道札幌南高等学校生徒会誌「みなみ」第 13 号 p23-25)	A5-3	南高創立特集「七十年の歩み」に寄せた文
1966. 6	手島繁一・松井憲明・城善範	教養自治会選挙公約(クラスに根ざした自治会活動を更に発展させ全学連に団結して百万学友と共に進もう!!)	B4-7	
1969. 5. 31	北大学生自治会連合委員長 手島繁一	あいさつ 広範な連帯の輪を[北大祭第 11th 6/1 ~6/8 (プログラム)]		
1969. 6 中旬	北大学連執行委員会ほか 9 学部学生自治会執行委員会	トロツキスト (五派連合) のたび重なる自治会執行委員長へのテロ・リンチ、強盗行為をきびしく糾弾する!	A4-2	
1969. 6 中旬	北大学生自治会連合執行委員長 手島繁一ほか 11 学部・看護自治会執行委員長名	大学立法「廃案」めざし 6. 23 全北大一万人集会を全構成員の手で実現しよう	B4-1	
1969. 7. 5	北大学生自治会連合執行委員長 手島繁一ほか 11 学部・看護自治会執行委員長名	立法審議に呼応し、政府の大学解体に道を開く、全学封鎖の企図を粉碎しつくせ! 戦闘的民主的学生運動の総力をあげて封鎖解除の行動にクラスぐるみで決起しよう!	B4-1	
1969. 10. 5	北海道大学学生自治会連合第 6 期執行委員会	北大学連第 7 回定期大会基調報告	B4-19	
1972. 9	全学連中央執行委員長 手島繁一	全学連全国活動者会議 討論のまとめ[要旨] (全学連機関紙「祖国と学問のために」●号)		
1973. 1	全学連委員長 手島繁一	迎春 1973 新年を迎えるにあたって (「祖国と学問のために」第 246 号)		一面の冒頭あいさつ
1973. 4. 4	全学連委員長 手島繁一くん・日教組委員長 榎枝元文氏	対談 全学連・日教組両委員長大いに語る (「祖国と学問のために」第 258 号)		
1980. 3?	手島繁一	イタリア共産党の形成ー工業評議会を中心として (法政大学大学院社会科学部研究科修士論文)	原稿用紙 (400 字) 200 枚弱	第二次大戦前において、イタリア社会党の混迷の中から生まれたグラムシに代表されるイタリア共産党の創立を論じた。
1980. 10	手島繁一	イタリア共産党の形成ーコミンテルン二回大会からリヴォルノの分裂 (労働旬報社「労働運動史研究 63 号」p146-162)	B5-15	
1987. 2	手島繁一・五十嵐仁	国際社会労働運動史研究について (労働旬報社刊、追悼文集刊行委員会編『追憶 中林賢二郎』)		
1990. 9	手島繁一	労働問題実践シリーズ (大月書店 1990 年 9 月刊) 『5 労働組合を創る』 6. 「地域を職場とする」労働者のための組織化の経験 7. 官公労における組織拡大 8. 管理職の組織化がはじまった 10. 組合づくりと結成前後の取り組み		
1990. 12	手島繁一	労働問題実践シリーズ (大月書店 1990 年 12 月刊) 『6 組合運動の新展開』 1 職場を基礎にした労働組合運動の展開 3 労働組合の地域共闘		
1992. 3. 31	手島繁一	労働界再編と社会運動 (法政大学大原社会問題研究所叢書「<連合時代>の労働運動」p291-317)	A5-27	政党=労働組合ブロックの系列ごとの社会運動について記述。
1993. 2	手島繁一	ICA 東京大会ベーク報告をどう受け止めるかー第 2 回シンポジウムの記録ー (協同の発見 No. 11)	A4-2	

1993. 3	手島繁	「協同」北海道集会の成功へ、準備進む（協同の 発見 No. 12）	A4-2	
1993. 3	手島繁一	国労・北海道闘争団、労働者協同組合へ本格的取 組みへ（協同の発見 No. 12）	A4-2	
1993. 5	手島繁一（編集・執筆）	『ワーカーズコープの挑戦——先進資本主義国 の労働者協同組合』（日本労働者協同組合連合会 編、労働旬報社、1993年05月、46刊上製）		
	手島繁一	巻頭論文：労働者協同組合＝ワーカーズ・コープ の意義と可能性	A5- 15	
	手島繁一	EC統合に立ち向かうレガの新戦略	A5-6	
1993. 7	手島繁一	北海道協同集会、200人、60団が参加（協同の発 見 No. 16）	A4-2	
1993. 8	手島繁一	新しい協同組合の企業形態・法制論（協同の発見 No. 17）	A4-6	
1993. 9	手島繁一	協同総合研究所、1993年度の活動について（協同 の発見 No. 18）	A4-3	
1993. 11	手島繁一	「協同」のための北海道集会：特集にあたって（協 同の発見 No. 19）	A4-2	
1993. 12	手島繁一	産別労働組合運動のニューウェーブ（協同の発見 No. 21）	A4-2	
1993. 12	手島繁一	労働者協同組合の科学		「仕事の発見」1993 年12月号創刊号
1994. 2	手島繁一	[特集：雇用不安と労働の未来 その1]特集にあ たって（協同の発見 No. 23）	A4-2	
1994. 4	手島繁一	日本における最近の稲作農業の実態と問題点・課 題（協同の発見 No. 25）	A4-1	
1994. 4	手島繁一	労働組合と労働者協同組合（1）		「仕事の発見」1994 年4月号 NO. 3
1994. 5	手島繁一	第4回会員総会・研究交流集会へ向けて（協同の 発見 No. 26）	A4-2	
1994. 6	手島繁一	書評「信州に上医あり若月俊一と佐久病院」ー （協同の発見 No. 27）	A4-1	
1994. 8	手島繁一	「神奈川ワーカーズ・コープ研究交流集会」をお えて（協同の発見 No. 29）	A4-1	
1994. 9	手島繁一	つばさ流通の経営と事業（協同の発見 No. 30）	A4-2	
1994. 11	手島繁一	労働組合運動の新しいあり方を考える（協同の発 見 No. 32）	A4-2	
1994. 12	手島繁一	「平岩リポート」を読む（協同の発見 No. 33）	A4-3	
1995. 10	手島繁一	全日自労三重県本部の歴史をまとめるにあたっ て（協同の発見 No. 43）	A4-2	
1996. 4	手島繁一	非営利協同セクターの形成に向けて（協同の発見 No. 49）	A4-2	
1996. 4. 14	全日自労建設一般三重 県本部・共同総合研究 所（シーアンドシー出 版）	皆でたたかった50年（全日自労三重県本部の歴 史）	B6- 328	共同総合研究所メン バーとして聞き取り 調査・編集・執筆を主 導的に行う
1996. 6	手島繁一	「皆でたたかった50年ー全日自労三重県本部の 歴史」の刊行にあたって（協同の発見 No. 51）	A4-2	
1997. 2	手島繁一	教育・労働と人間発達ー若者たちの未来ー（協同 の発見 No. 58）	A4-6	
1997. 4	手島繁一	住環境と地域コミュニティーの創造ー第5回基 本研究会の討論からー（協同の発見 No. 60）	A4-3	
1997. 11	手島繁一	特集 貴柳野調査報告、特集にあたって（協同の 発見 No. 67）		
1998. 3	林 丘・手島繁一	就業形態の多様化と労働組合の新しい戦略（協同 の発見 No. 71）		
1998. 5	手島繁一	特集 農業が地域をつなぐー第5回基本研究会の 議論 から（協同の発見 No. 73）		
1998. 8	手島繁一	<巻頭言>第18回 参議院選挙の結果に思う（協 同の発見 No. 76）		
1998. 9	手島繁一	『仕事の発見』ヘルパー養成講座で新段階を切り 開く静岡市民共済センター（1998年9月号 No. 29、発行：日本労協連、編集：シーアンドシー 出版）		
1998. 9	手島繁一	ルポ・町のなかの労働者協同組合「ヘルパー養成 講座で新段階を切り開く静岡市民共済センター」		「仕事の発見」1998 年9月号 NO. 29
1998. 10	手島繁一	高松丸亀商店街物語（上）		「仕事の発見」1998 年10月号 NO. 30
1998. 11	手島繁一	全労連・労働 総研主催「第3回地域政策研究全 国交流集会」に参加して（協同の発見 No. 79）		
1998. 12	手島繁一	第2分科会 地域 経済の再生と協同のネットワ ーク（協同の発見 No. 80）		
1999. 1	手島繁一	高松丸亀商店街物語（下）		「仕事の発見」1999 年1月号 NO. 31

1999. 11	手島繁一	インターネットを活用することで、研究所の活動はどうなったか(1) ホームページとメーリングリストの現況と利用案内(協同の発見 No. 91)	A4-8	
1999. 12	手島繁一	インターネットを活用することで、研究所の活動はどうなったか(2) ホームページの効用と「大改装作戦」(協同の発見 No. 92)	A4-8	
2000. 1	手島繁一	インターネットを活用することで、研究所の活動はどうなったか(3) 労協連専用サーバーの運用開始と「大改装作戦」の進展状況(協同の発見 No. 93)	A4-8	
2000. 4	手島繁一	JICR・ORG 通信★「春爛漫」のトップページへ★「インターネット元年」から「Eコマース元年」へ★「iモード」の爆発的拡大★COPACにリンクされました(協同の発見 No. 95)	A4-8	
2000. 7	手島繁一	JICR・ORG 通信★インターネットに関する二つの「白書」★JICR.ORG に二つ目の「子サイト」誕生★メーリングリストの活用に新しい試み★「リテラシー」向上のためにも大きな一歩★この間の更新情報(協同の発見 No. 98)	A4-8	
2000. 8	手島繁一	JICR・ORG 通信★肩すかしを食らった沖縄サミット★iモード加入者数が1000万突破★DDIグループも好調★メーリングリスト(ML)の展開★HPのメール窓口から★この間の更新情報(協同の発見 No. 99)	A4-5	
2000. 9	手島繁一	JICR・ORG 通信★5000アクセスを突破★「iモード事件」の面白さ★IT革命が崩す「二項対立図式」★JICR.ORG 改革の課題★この間の更新情報(協同の発見 No. 100)	A4-5	
2001. 2	手島繁一	JICR・ORG 通信: 協同集会とインターネット(協同の発見 No. 104)	A4-4	
2001. 3	手島繁一	JICR・ORG 通信: ★次世代インターネットの鍵を握る「二つのB」★「Broadband」(ブロードバンド)を実現する「二つの方策」★私的「Broadband」(ブロードバンド)体験記★「最強の検索エンジン」Googleの登場★複数の検索エンジンを同時に使う(協同の発見 No. 105)	A4-6	
2001. 5	手島繁一	JICR・ORG 通信: ★「研究所たより WEB版」を新設★協同総研10周年記念集会の特集ページを掲載★恐るべし!「インターネット携帯端末」(協同の発見 No. 107)	A4-4	
2001. 7	手島繁一	JICR・ORG 通信: ★「Lモード」が本格始動★ブロードバンドの新動向★ウイルスに注意(協同の発見 No. 109)	A4-5	
2005. 12	手島繁一	社会運動的労働運動と生協労働運動の交叉(大原社会問題研究所雑誌、No. 565【特集】社会運動的労働運動論の歴史と現状(2)、p. 1-12)	A4-12	
2006. 10. 21	手島繁一	廣君を悼む(佐藤廣君を偲ぶ会しおり)	A4-1	
2007. 3. 1	手島繁一	第7章 学生運動の再出発とその展開—全学連結成前史—(大月書店、法政大学大原社会問題研究所叢書:「戦後革新勢力の源流」—占領前期政治・社会運動史論 1945-1947)		
2008. 8	手島繁一	大分のケアワークタクシーと地域おこしを訪ねる旅(協同の発見 No. 99)		
2010. 5. 16	手島繁一	大学民主化闘争と「紛争」—「1968年論」を手がかりに(「北大の自由・自治・反戦・平和の歴史を考える 5.16集会」プログラムと資料 p. 13)	A4-1	小熊英二「1968」をてがかりに「北大紛争」をはじめ大学民主化闘争について延べる。
2010. 5. 16	手島繁一	戦後北大学生運動史略年表(「北大の自由・自治・反戦・平和の歴史を考える 5.16集会」プログラムと資料 p. 18-24)	A4-7	
2010. 8	北大 5.16集会世話人会 事務局長 手島繁一	北大の自由・自治・反戦・平和の歴史を考える—イールズ闘争 60周年・60年安保闘争 50周年を迎えて—(労働運動研究復刊 26号 p32-38)	B5-7	
2011. 2. 22	手島繁一	大学民主化闘争と「紛争」—「1968年論」を手がかりに(「蒼空に梢つらねて」 p. 116-121)	A5-6	(1)「北大紛争」とはなんであったのか?(2)基本底流にあった大学民主化闘争の流れ(3)認め合う関係の再構築—学生自治会の再建へ
2011. 2. 22	手島繁一	「蒼空に梢つらねて」あとがき(「蒼空に梢つらねて」 p. 400-401)	A5-2	
2011. 2. 22	手島繁一	戦後北大学生・教職員運動史略年表(「蒼空に梢つらねて」 p. 355-370)	A5-10	